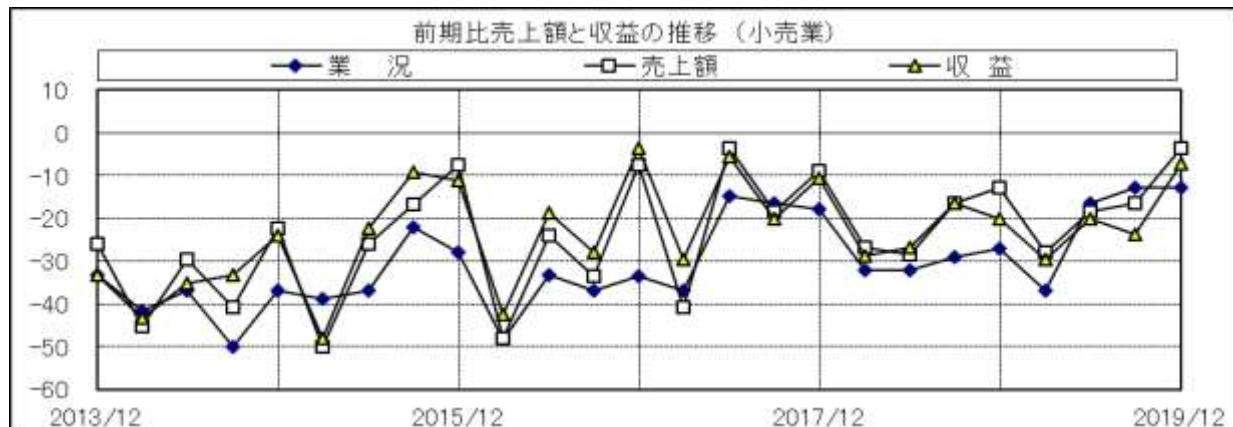


小 売 業 54 企 業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	4～6 月 期 実 績	7～9 月 期 実 績	10～12 月 期 実 績	1～3 月 期 実 績
業 況	-16.4	-12.7	-12.7	-34.5
売上額	-18.3	-16.5	-3.6	-29.1
収 益	-20.1	-23.7	-7.3	-30.9

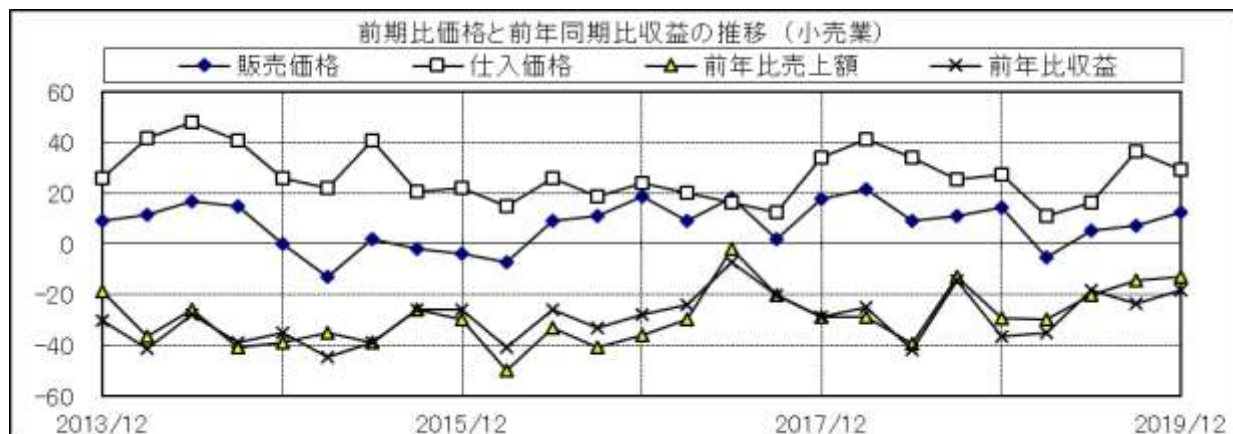
今期の業況判断 D. I. は△12.7 で、前期と同水準。前年(△27.2)比 14.5 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、静内が最も高く、三石・様似・えりもが同水準で続き、次に浦河で、広尾が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は△3.6 で、前期比 12.9 ポイント上昇。収益判断 D. I. は△7.3 で、前期比 16.4 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	4～6 月 期 実 績	7～9 月 期 実 績	10～12 月 期 実 績	1～3 月 期見通し
販売価格	5.4	7.2	12.7	-1.8
仕入価格	16.4	36.4	29.1	18.2

販売価格判断 D. I. は 12.7 で前期比 5.5 ポイント上昇、前年(14.6)比 1.9 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 29.1 で前期比 7.3 ポイント下降、前年(27.4)比 1.7 ポイント上昇した。業種別の価格は、衣料は販売が下降、仕入は横ばい。食料は販売が上昇、仕入は下降。家電は販売、仕入ともに横ばいとなった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6 月 期 実 績	7～9 月 期 実 績	10～12 月 期 実 績	1～3 月 期見通し
残業時間	-5.4	-12.8	-11.0	-14.6
人手状況	-21.8	-20.0	-21.9	-14.6

残業時間判断 D. I. は△11.0 で、前期比 1.8 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△21.9 で、前期比 1.9 ポイント下降し、人手不足感が強まった。

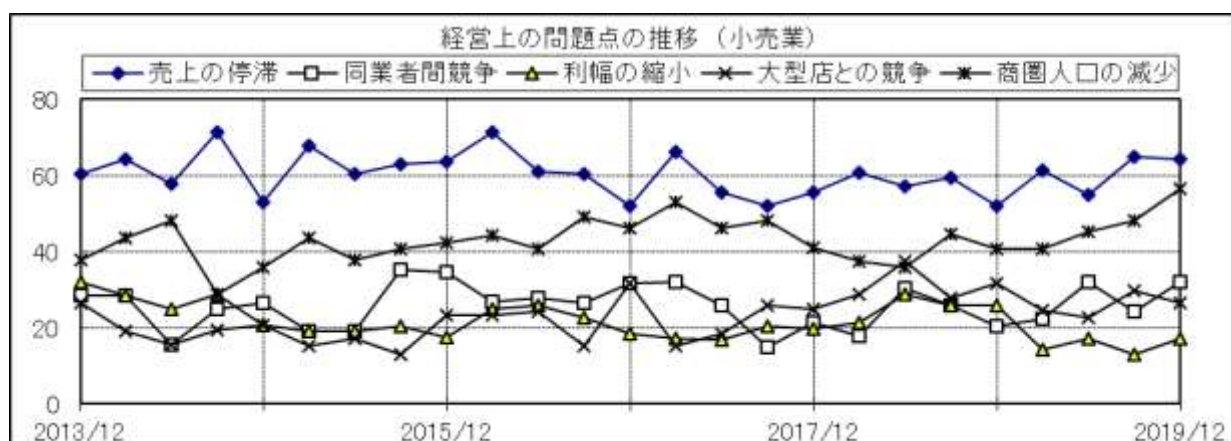
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示す D. I. は△14.5 で、前期(△9.1)比 5.4 ポイント下降した。

設備実施企業割合は 9.1 で、前期(5.5)比 3.6 ポイント上昇した。設備投資は、前期 3 社に対し 5 社の実施となった。来期の設備投資の予定は 4 社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が 64.2%と最も多く、次に「商圈人口減少」56.6%、「同業者競合」32.1%、「大型店競合」26.4%、「利幅縮小」17.0%、「人手不足」・「人件費増加」・「取引先減少」・「商店街集客力低下」・「地場産業衰退」が 7.5%、「値上げ要請」・「駐車場確保難」が 5.7%となっている。重点経営施策では、「経費節減」が 78.2%と最も多く、次に「売れ筋商品取扱」32.7%、「品揃え改善」25.5%、「宣伝広告強化」18.2%、「商店街活性化」16.4%、「仕入先開拓選別」14.5%、「人材確保」9.1%、となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断 D. I. は△34.5 と、今期比 21.8 ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断 D. I. は△29.1 と、今期比 25.5 ポイントの下降を見通している。

予想収益判断 D. I. は△30.9 と、今期比 23.6 ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断 D. I. は△1.8 と、今期比 14.5 ポイントの下降を見通している。

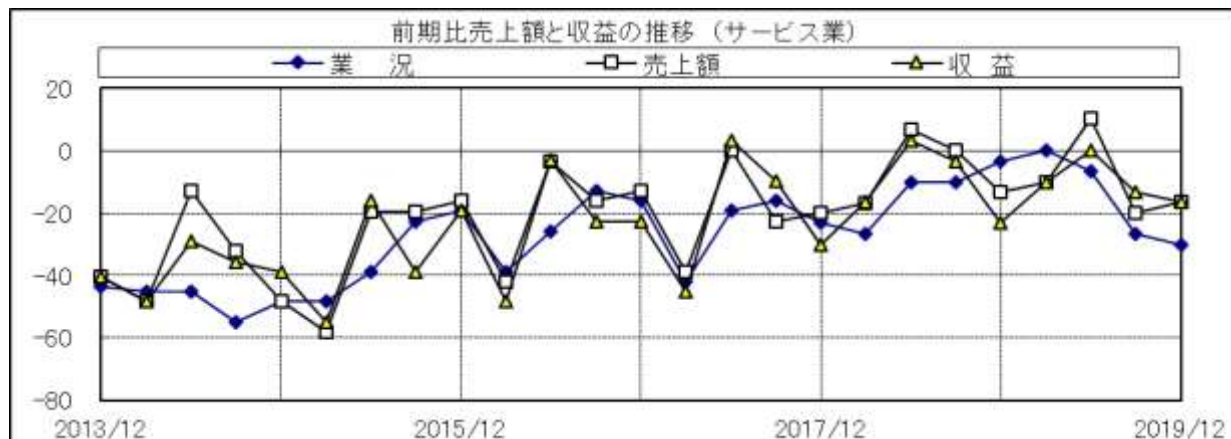
予想仕入価格判断 D. I. は 18.2 と、今期比 10.9 ポイントの下降を見通している。

サービス業 30 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
業 況	-6.7	-26.7	-30.1	-36.7
売上額	10.1	-20.0	-16.6	-36.7
収 益	0.1	-13.3	-16.6	-40.0

今期の業況判断 D. I. は△30.1 で、前期比 3.4 ポイント下降、前年(△3.4)比 26.7 ポイント下降した。地区別の D. I. は高い順に、静内が最も高く、次にえりも、三石が同水準、広尾、浦河と続き、様似が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は△16.6 で、前期比 3.4 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は△16.6 で、前期比 3.3 ポイント下降した。



□ 価格面の動きと前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
料金価格	3.4	-3.3	3.3	6.7
材料価格	10.0	3.3	33.4	13.4

料金価格判断 D. I. は 3.3 で、前期比 6.6 ポイント上昇、前年(3.4)比 0.1 ポイント下降した。材料価格判断 D. I. は 33.4 で、前期比 30.1 ポイント上昇、前年(30.0)比 3.4 ポイント上昇した。業種別では、旅館業は料金が下降し材料は横ばい。洗濯理美容業、自動車整備業は、料金、材料ともに上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
残業時間	6.7	-10.1	10.0	0.0
人手状況	-20.0	-30.1	-13.4	-13.4

残業時間判断 D. I. は 10.0 で、前期比 20.1 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が大幅に増えた。

人手過不足判断 D. I. は△13.4 で、前期比 16.7 ポイント上昇し、人手不足感は大幅に弱まった。

□ 設備投資の動き

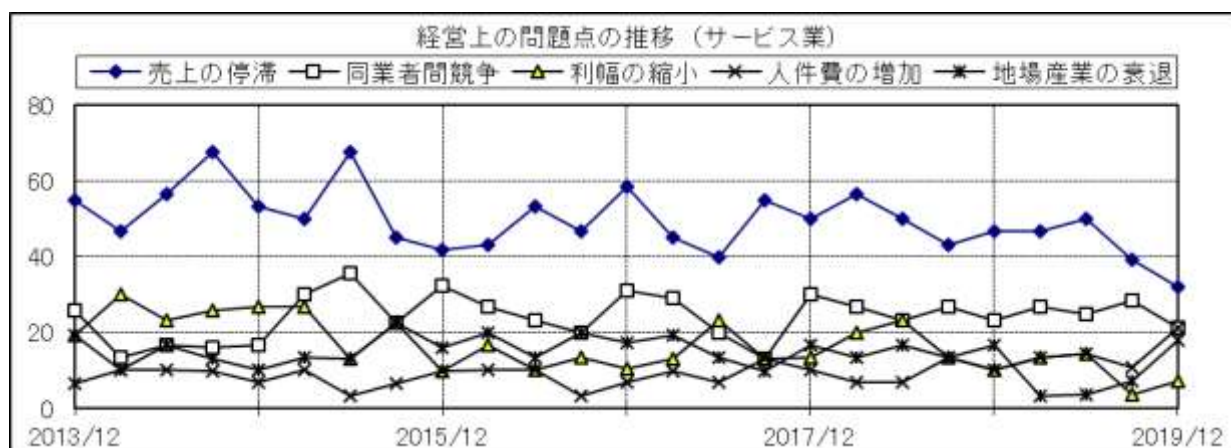
設備投資の充足感を示す D. I. は 3.3 で、前期(△3.4)比 6.7 ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は 10.0 で、前期(20.0)比 10.0 ポイント下降した。設備投資は、前期 6 社に対し、3 社の実施となった。来期の設備投資は 2 社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「商圏人口減少」が 46.4%と最も多く、次に「人手不足」39.3%、「売上停滞減少」32.1%、「同業者競争」・「材料価格上昇」・「人件費増加」が 21.4%、「地場産業衰退」17.9%、「取引先減少」10.7%、「利幅縮小」7.1%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が 73.3%と最も多く、次に「人材確保」40.0%、「販路拡大」30.0%、「宣伝広告強化」23.3%、「技術力強化」10.0%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断 D. I. は△36.7 と、今期比 6.6 ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断 D. I. は△36.7 と、今期比 20.1 ポイントの下降を見通している。

予想収益判断 D. I. は△40.0 と、今期比 23.4 ポイントの下降を見通している。

予想料金価格判断 D. I. は 6.7 と、今期比 3.4 ポイントの上昇を見通している。

予想材料価格判断 D. I. は 13.4 と、今期比 20.0 ポイントの下降を見通している。